



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月5日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <https://www.yokohama-maruu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 雅裕

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社総務部長 (氏名) 大和 周治

TEL 045-459-2921

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,033	△1.7	45	△59.9	272	△5.3	172	△16.2
2025年3月期第1四半期	9,188	0.6	112	203.4	288	53.1	205	82.6

(注)包括利益 2026年3月期第1四半期 △166百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 1,518百万円 (72.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	27.04	—
2025年3月期第1四半期	32.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	25,185	17,049	67.5
2025年3月期	25,279	17,429	68.7

(参考)自己資本 2026年3月期第1四半期 17,008百万円 2025年3月期 17,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	4.2	450	26.9	800	12.5	550	8.2	86.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	7,261,706 株	2025年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	894,898 株	2025年3月期	894,898 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	6,366,808 株	2025年3月期1Q	6,366,808 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(収益認識関係)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、深刻化する人手不足を背景に、特に若年層の賃金改善が進むなど賃上げの流れが定着いたしました。また、インバウンド需要は好調さを維持し、堅調な企業業績も相まって、景気は緩やかに回復いたしました。一方、政府が市場に介入するまでに至った米価高騰など、長期にわたる物価上昇により消費支出の抑制が懸念されるほか、不安定な世界情勢や米国の通商政策により世界的な景気後退リスクが高まるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、旬のカツオが良質で幅広い取引先から支持されたほか、地場のアジ、サバの入荷も多くセリ場を活気づけ、売上に貢献いたしました。しかし、円安および海外需要の増加による輸入原料価格の高騰や、海水温の上昇等による漁獲量の減少、エネルギー価格の高止まりによる運送コストの上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは2023年度から2025年度までを対象期間とした「横浜丸魚グループ中期経営計画2023 ～Rebirth～」の最終年度となります3年目にあたり、経営の中で大切にしている「水産卸売事業を通じた社会貢献」「長期的視点の経営」「人を大切にする経営」をベースに、経営課題を踏まえた4つの施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,033百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ155百万円(△1.7%)の減収となりました。また、営業利益は45百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ67百万円(△59.9%)、経常利益は272百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ15百万円(△5.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は172百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ33百万円(△16.2%)それぞれ減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は7,111百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ179百万円(△2.5%)の減収となり、営業利益も24百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ39百万円(△61.2%)の減益となりました。

(水産物販売事業)

売上高は1,778百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ8百万円(0.5%)の増収となりましたが、営業損失は20百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ26百万円(前年同期 営業利益6百万円)の減益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は47百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ0百万円(0.6%)の増収となりましたが、営業利益は30百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ2百万円(△8.8%)の減益となりました。

(運送事業)

売上高は95百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ15百万円(19.1%)の増収となり、営業利益も10百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ2百万円(27.9%)の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、25,185百万円と前連結会計年度末に比べ94百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の増加481百万円、売掛金の減少163百万円、商品及び製品の増加119百万円、時価評価等による投資有価証券の減少509百万円によるものであります。

負債は、8,136百万円と前連結会計年度末に比べ285百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の増加449百万円、投資有価証券の時価評価に伴う繰延税金負債の減少161百万円によるものであります。

純資産は、17,049百万円と前連結会計年度末に比べ379百万円減少しました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少348百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,917	3,399
売掛金	3,487	3,324
商品及び製品	1,338	1,458
その他	61	55
貸倒引当金	△479	△473
流動資産合計	7,326	7,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,710	1,697
土地	2,167	2,167
リース資産（純額）	150	139
その他（純額）	51	59
有形固定資産合計	4,080	4,064
無形固定資産		
ソフトウェア	38	35
リース資産	25	23
その他	10	10
無形固定資産合計	73	68
投資その他の資産		
投資有価証券	13,675	13,166
長期貸付金	0	0
破産更生債権等	289	289
繰延税金資産	10	11
その他	89	88
貸倒引当金	△266	△267
投資その他の資産合計	13,799	13,288
固定資産合計	17,953	17,421
資産合計	25,279	25,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,537	2,986
短期借入金	600	600
1年内返済予定の長期借入金	1	0
未払法人税等	118	65
引当金	56	11
その他	326	438
流動負債合計	3,641	4,103
固定負債		
退職給付に係る負債	363	366
資産除去債務	27	27
繰延税金負債	3,430	3,269
その他	387	369
固定負債合計	4,209	4,032
負債合計	7,850	8,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	8,745	8,726
自己株式	△800	△800
株主資本合計	9,889	9,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,485	7,137
その他の包括利益累計額合計	7,485	7,137
非支配株主持分	53	41
純資産合計	17,429	17,049
負債純資産合計	25,279	25,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,188	9,033
売上原価	8,387	8,229
売上総利益	800	803
販売費及び一般管理費	687	757
営業利益	112	45
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	175	228
その他	1	4
営業外収益合計	176	233
営業外費用		
支払利息	1	2
車両事故損失	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	1	5
経常利益	288	272
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
投資有価証券売却損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	283	272
法人税、住民税及び事業税	83	93
法人税等調整額	△5	△1
法人税等合計	77	91
四半期純利益	205	181
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	205	172

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	205	181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,312	△348
その他の包括利益合計	1,312	△348
四半期包括利益	1,518	△166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,517	△176
非支配株主に係る四半期包括利益	0	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	50百万円	41百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	2,042	—	—	—	2,042	—	2,042
冷凍	2,435	—	—	—	2,435	—	2,435
塩干加工他	2,811	—	—	—	2,811	—	2,811
水産物一般	—	1,770	—	—	1,770	—	1,770
運送	—	—	—	80	80	—	80
顧客との契約から生じる収益	7,290	1,770	—	80	9,141	—	9,141
その他の収益	—	—	46	—	46	—	46
外部顧客への売上高	7,290	1,770	46	80	9,188	—	9,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	460	19	6	29	517	△517	—
計	7,751	1,789	53	110	9,705	△517	9,188
セグメント利益	63	6	33	8	112	0	112

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 （注1）	四半期連結 損益計算書 計上額 （注2）
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	2,080	—	—	—	2,080	—	2,080
冷凍	2,069	—	—	—	2,069	—	2,069
塩干加工他	2,961	—	—	—	2,961	—	2,961
水産物一般	—	1,778	—	—	1,778	—	1,778
運送	—	—	—	95	95	—	95
顧客との契約から生じる収益	7,111	1,778	—	95	8,985	—	8,985
その他の収益	—	—	47	—	47	—	47
外部顧客への売上高	7,111	1,778	47	95	9,033	—	9,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	463	22	6	29	522	△522	—
計	7,574	1,801	54	125	9,555	△522	9,033
セグメント利益又は損失（△）	24	△20	30	10	45	△0	45

（注） 1．セグメント利益又は損失（△）の調整額△0百万円は、棚卸資産の未実現利益△0百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。